

令和 8 ～ 1 0 年度基幹業務システム統一・標準化推進に  
係る P M O 業務委託に関する落札者決定基準

令和 7 年 1 1 月

北九州市

～目次～

- 1 本書の位置付け
- 2 落札者の決定方法
  - (1) 入札価格の評価
  - (2) 提案内容の評価
  - (3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法
  - (4) 総合評価点の最も高い者が2者以上あるとき（同点のとき）の対応
  - (5) 落札者が契約を締結しないときの対応
  - (6) 予備審査
- 3 入札価格評価の方法
- 4 技術評価の方法
  - (1) 配分の考え方
  - (2) 評価の方法

## 1 本書の位置付け

本書は、北九州市が令和8～10年度基幹業務システム統一・標準化推進に係るPMO業務委託を実施する事業者を客観的に評価・選定するための方法及び基準等を示すものであり、「01\_\_入札説明書」と一体のものである。

## 2 落札者の決定方法

落札者の決定にあたっては、提案内容を公平かつ客観的に評価し、本件にとって最適な事業者を選定するため、入札価格の評価である「価格点」に、提案内容の評価である「技術点」を加算する総合評価競争方式を採用する。

審査委員の採点結果を集計のうえ、最も得点の高い者を落札者とする。

### (1) 入札価格の評価

入札価格については、後に示す計算式に基づき「価格点」を与える。ただし、入札参加者の入札価格が本市の予定価格を上回った場合は、落札候補者とししない。

### (2) 提案内容の評価

「04\_\_提案審査票」に基づき提案内容の評価し「技術点」を与える。

### (3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

(1) 及び (2) で評価した、「技術点」及び「価格点」の合計点数（以下「総合評価点」という）が最も高い者を落札者とする。「総合評価点」の最高点は200点とし、「技術点」の最高点は160点、「価格点」の最高点は40点とする。

### (4) 総合評価の最も高い者が2者以上あるとき（同点のとき）の対応

総合評価点の最も高い者が2者以上あるときは、「技術点」が高い者を落札者とする。さらに、技術等に関する得点の同じ者が2者以上ある場合は、当該事業者立会いのもと、くじを引かせ落札者を決定する。この場合、当該者がくじを引かない場合は、当該入札事務に関係のない職員をして代わってくじを引かせることができる。

### (5) 落札者が契約を締結しないときの対応

上記に定める方式により決定した落札者が、契約書へ記名押印しない場合には、総合評価点が次に高い者を落札者として決定する。

### (6) 予備審査

提案書を提出した者が6者以上あった場合、提案書の予備審査を行う。予備審査では、審査委員が「04\_\_提案審査票」に基づき審査を行い、上位5者のみ本審査において評価を行う。本審査の対象とならなかった者は、総合評価点にかかわらず、落札者とはならない。なお、予備審査を行った場合は、すべての参加申出者に対して結果を書面にて通知する。

## 3 入札価格評価の方法

価格点は、評価基準に基づいて、以下のとおりに算出する。

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (1 - \text{入札価格} \times 1.1 / \text{予定価格})$$

※ただし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで求める  
 なお、入札価格が予定価格を超える場合は、評価対象外となるため、落札候補者  
 としない。

#### 4 技術評価の方法

技術点は、「0 4 \_\_提案審査票」の各項目に基づき、以下に示す方法により 5  
 段階の評価を行う。技術点は、小数点第 2 位までを求めて付与する。

判断基準		評価	得点の付与方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業についての十分な理解、認識に基づいた提案の的確性など</li> <li>・ 提案内容の有効性、合理性など</li> <li>・ 提案内容の具体性、斬新性など</li> </ul>	アイウエオ <div>             提案内容評価表の              各評価の観点による           </div>	A	配点×1. 0 0
		B	配点×0. 7 5
		C	配点×0. 5 0
		D	配点×0. 2 5
		E	配点×0. 0 0